Android 安心設定ガイド

お客様向け・画面を見ながら一つずつ

・画面ロックと更新で、スマホを守る
・アプリと通知を見直して、情報を守る
・紛失する前に、探す準備をする



Samsung公式の製品イメージ

覚えておきたいこと

対象：Google Playを使える個人用Androidスマートフォン。操作はご本人のペースで進めましょう。

このガイドの使い方

設定の名前を探し、終わったら「確認」を読みます。

① 文章の番号順に、一つずつ操作します。

② 画像は主にGalaxyの画面例です。

③ Pixel・AQUOS・Xperiaなどは設定名を探します。

④ 同じ項目がなければ、メーカーの案内を確認します。

覚えておきたいこと

AndroidやOne UIのバージョンによって、名前・場所・利用できる機能が変わります。画像のON／OFFをそのまままねず、本文の設定目標を確認してください。

始める前の準備

わからない暗証番号を、何度も試さないでください。

・充電し、自宅など信頼できるWi-Fiにつなぎます。
・現在の画面ロックの番号を確認します。
・Googleアカウントとログイン方法を確認します。
・大切なデータをバックアップします。

覚えておきたいこと

暗証番号・パスワード・認証コードは、この冊子に書かず、自分で管理します。操作を教わるときも、入力はご本人が行いましょう。

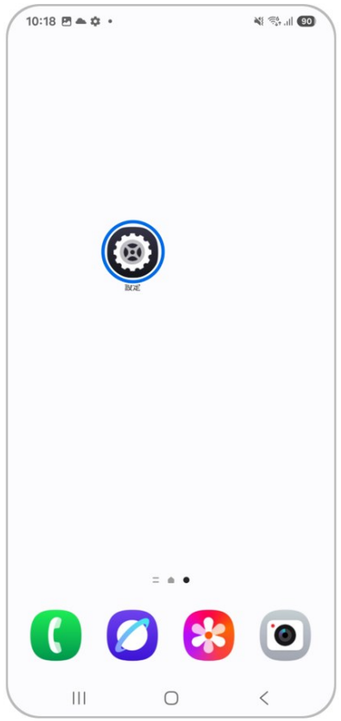
「設定」アプリを開く

歯車の形のアイコンが目印です。

① ホーム画面で「設定」を押します。

② 見つからないときはアプリ一覧を開きます。

③ 設定内の検索で項目名を入力できます。



Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：「設定」の画面を開けました。

覚えておきたいこと

このガイドで「押す」とは、指で軽く1回触れることです。見つからない項目は、例えば「画面ロック」「バックアップ」で検索してください。

データのバックアップ

壊れたとき・なくしたときのために備えます。

①「設定」→「Google」→「すべてのサービス」。

②「バックアップ」を開き、保存先を確認します。

③「デバイスのデータ」のバックアップをオン。

④「今すぐバックアップ」があれば押します。

初回は完了まで時間がかかります。容量不足やエラーがあれば解消してから次へ。

確認：保存先・対象データ・直近の完了日時を確認。

覚えておきたいこと

写真・動画はGoogleフォト、LINEのトークはLINE側でも確認が必要です。すべてのアプリのデータが戻るわけではありません。

本体の更新を探す

スマホ本体を動かすソフトを新しくします。

①「設定」を開きます。

② Galaxyは「ソフトウェア更新」を押します。

③「更新を確認」または
「ダウンロードおよびインストール」を押します。

先にバックアップを確認し、十分に充電します。更新中は電話を使えない時間があります。

確認：更新の有無を確認できました。



Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

覚えておきたいこと

Pixelなどでは「システム」→「ソフトウェア アップデート」が入口です。機種ごとに提供される更新を確認しましょう。

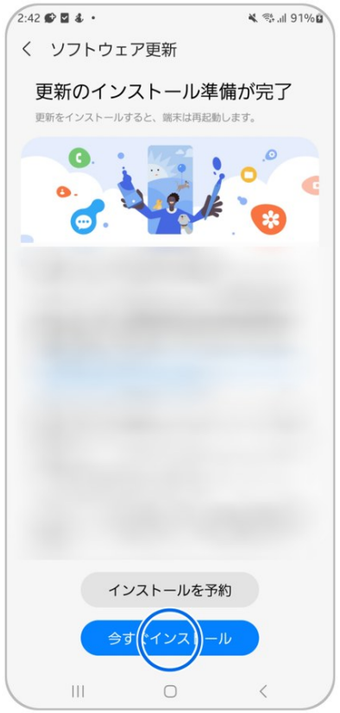
更新をインストールする

表示された案内に沿って進めます。

① 更新内容を読み、ダウンロードします。

②「今すぐインストール」などを押します。

③ 再起動が終わるまで待ちます。



Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：再起動が終わり、いつもの画面に戻りました。

覚えておきたいこと

「今すぐ再起動」と表示される機種もあります。更新中は電源を切らず、時間に余裕があるときに進めてください。

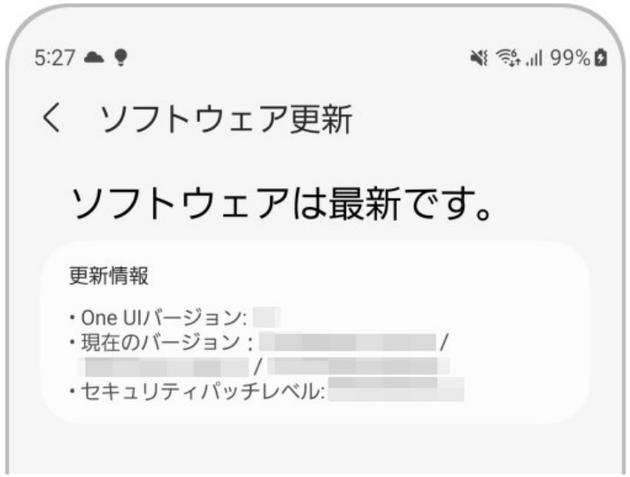
更新が終わったか確認する

「ダウンロードしただけ」で終わらせません。

① もう一度「ソフトウェア更新」を開きます。

② 更新が残っていないか確認します。

③「最新です」などの表示を確認します。



Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：保留中の再起動・インストールがありません。

覚えておきたいこと

「最新です」は、その機種に提供されている範囲の表示です。長く更新が来ない場合は、メーカーの更新サポート期間も確認しましょう。

Google Playのシステム更新

本体更新とは別の更新も確認します。

① 設定の検索で「Google Play システム」と入力。

②「Google Play システム アップデート」を開きます。

③ 更新があれば実行し、必要なら再起動します。

確認：更新画面を確認し、残った更新を適用しました。

覚えておきたいこと

「デバイス情報」→「Androidバージョン」や「セキュリティとプライバシー」内にある機種もあります。見つからなければメーカーの案内へ。

アプリの自動更新

Play ストアのアプリも新しく保ちます。

①「Play ストア」→右上のプロフィールを押します。

②「設定」→「ネットワーク設定」を開きます。

③「アプリの自動更新」を押します。

④「Wi-Fi経由のみ」など、自動更新を選びます。

確認：自動更新が有効になりました。

覚えておきたいこと

Wi-Fiのみを選んだら、定期的に自宅のWi-Fiにつなぎましょう。Galaxy Storeから入れたアプリは、そのストアでも更新を確認します。

画面ロックの設定を開く

他人が勝手にスマホを開けないようにします。

①「設定」で「画面ロック」を検索します。

② Galaxyの例：
「ロック画面とAOD」を押します。

③「画面ロックと生体認証」を押します。



一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：PIN・パスワードなどの選択画面が出ました。

覚えておきたいこと

ほかの機種では「セキュリティとプライバシー」→「デバイスのロック解除」などにあります。今の暗証番号を求められたらご本人が入力します。

PINを選ぶ

PINは、画面ロックを解除する数字です。

① 「PIN」を押します。

② 6桁以上の、推測されにくい数字を考えます。

③ 誕生日・電話番号・同じ数字の連続は避けます。



一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：自分で管理できる番号を決めました。

覚えておきたいこと

より強くしたい方は、長い英数字のパスワードも選べます。「なし」「スワイプ」だけでは第三者による操作を防げません。

PINを入力して登録する

画面を周りの人に見られないようにします。

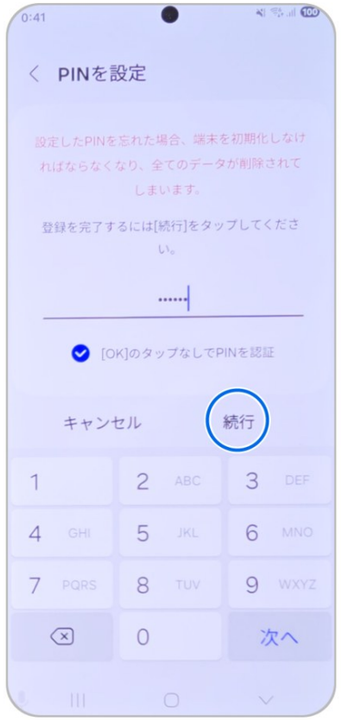
① 決めた番号を入力し「続行」を押します。

② もう一度同じ番号を入力します。

③「OK」などを押して登録します。

画像は入力画面の例です。例の桁数に合わせず、6桁以上にします。

確認：入力した番号を忘れていないことを確認。



Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

覚えておきたいこと

自動で認証する設定がある場合、このガイドではオフをおすすめします。番号の控えが必要ならスマホと別の安全な場所で管理してください。

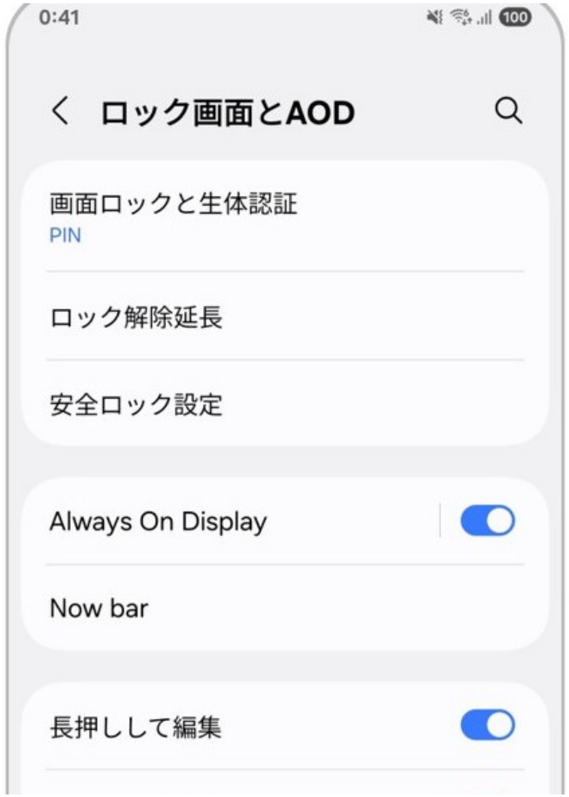
画面ロックを試す

登録した後は、自分で開けるか確かめます。

① 設定画面に「PIN」などが表示されます。

② 側面の電源ボタンを短く押して画面を消します。

③ 画面をつけ、登録した番号で開きます。



一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：番号を入力すると、自分で開けました。

覚えておきたいこと

長押しすると電源メニューが出る場合があります。番号を忘れたときは当てずっぽうで繰り返さず、メーカーの公式サポートへ相談しましょう。

指紋認証を追加する

対応している機種で利用できます。

① 設定の検索で「指紋」と入力します。

②「指紋認証」を開きます。

③ 現在のPINで本人確認をします。

④ 案内を読み「続行」「登録」へ進みます。



一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：指紋を登録する画面が表示されました。

覚えておきたいこと

指紋認証を使っても、PINは必要です。再起動後などに入力するため、番号を忘れないでください。

指を当てて登録する

ご本人の指を登録します。

① 指の腹をセンサーに当てます。

② 画面の案内に合わせて、少しずつ位置を変えます。

③ 完了まで進み「完了」を押します。

④ 画面をロックし、指紋で開けるか試します。



Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：指紋で開け、PINも覚えています。

覚えておきたいこと

センサーの場所は機種によって異なります。指紋が読めないときはPINを使います。顔認証の安全性や対応する操作も機種によって違います。

画面を消した後のロック

画面が暗くなることと、ロックは別です。

① 設定で「画面消灯」「スリープ」を探します。

② 使いやすい短い時間（例：30秒～1分）を選びます。

③「安全ロック設定」などがあれば開きます。

④ 消灯後のロックを短くし、ボタンで即ロックに。

名称・選べる時間は機種で異なります。短すぎて困る場合は調整します。

確認：画面を消した後、認証なしで開けません。

覚えておきたいこと

「ロック解除の延長」「Smart Lock」を使うと、自宅や接続機器の近くでロックが続かない場合があります。保護を優先するなら、その条件を解除します。

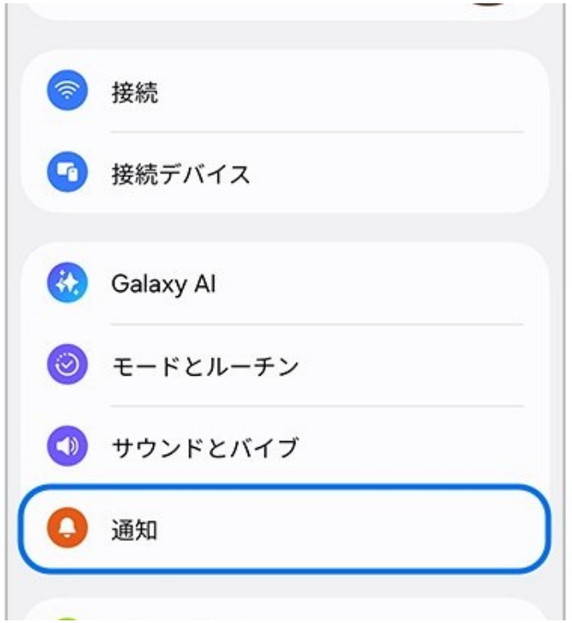
通知の設定を開く

ロック中にメッセージの中身を見せない準備です。

①「設定」を開きます。

②「通知」を押します。

③「ロック画面」などの項目を探します。



確認：ロック中の通知設定を開けました。

一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

覚えておきたいこと

通知そのものをすべて止める必要はありません。着信や連絡に気づける状態を保ち、メッセージ本文や認証コードを隠します。

通知の内容を隠す

Galaxyの表示例：内容を非表示にします。

①「通知内容を非表示」を選びます。

②「完了」があれば押します。

③ ロックしたまま通知の見え方を確認します。

画像では「内容を表示」が選択されています。設定するときは「非表示」を選びます。



Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：ロック画面にメッセージ本文が出ません。

覚えておきたいこと

Pixelなどは「機密性の高い通知」をオフにする方式もあります。LINE側の「メッセージ内容を表示」も、別途見直すと安心です。

通知の表示が新しい機種では

「ロック中は内容を非表示」などを探します。

①「設定」→「通知」を開きます。

②「ロック中は内容を非表示」があれば選びます。

③ アプリごとの表示設定も確認します。



確認：よく使う連絡アプリで、本文が隠れています。

一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

覚えておきたいこと

画面名が違う場合は「非表示」「ロック中」で設定を検索してください。顔認証で自動解除される機種では、解除前の状態で確かめます。

Play プロテクトを確認する

Googleによる危険なアプリの検査です。

① 「Play ストア」→右上のプロフィール。

② 「Play プロテクト」を開きます。

③ 歯車の設定を開き、
「Play プロテクトによるアプリのスキャン」をオン。

④ 戻って「スキャン」があれば実行します。

確認：スキャンがオンで、警告内容も確認しました。

覚えておきたいこと

「問題なし」でもすべての危険を防げるわけではありません。警告が出たアプリは、相手に言われても保護を切って使わないでください。

Galaxy：自動ブロッカーの入口

対応するGalaxyだけの追加設定です。

①「設定」を開きます。

②「セキュリティおよびプライバシー」を押します。

③「自動ブロッカー」を探して開きます。



一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：自動ブロッカーの説明を開けました。

覚えておきたいこと

項目がない機種では、この設定は飛ばしてください。Play プロテクトと、次に説明する不明なアプリの許可を確認します。

Galaxy：自動ブロッカーをオン

不明な提供元からのアプリなどを制限します。

① 説明を読みます。

② 上部のスイッチを「ON」にします。

③ 確認画面があれば、内容を読んで進めます。



確認：「ON」と表示されています。

一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

覚えておきたいこと

「最大制限」は、添付ファイルや共有機能などへの影響があります。まず基本の自動ブロッカーを設定し、追加制限は説明を読んで判断しましょう。

不明なアプリの許可をオフ

メールやSMSから届いたアプリを入れないために。

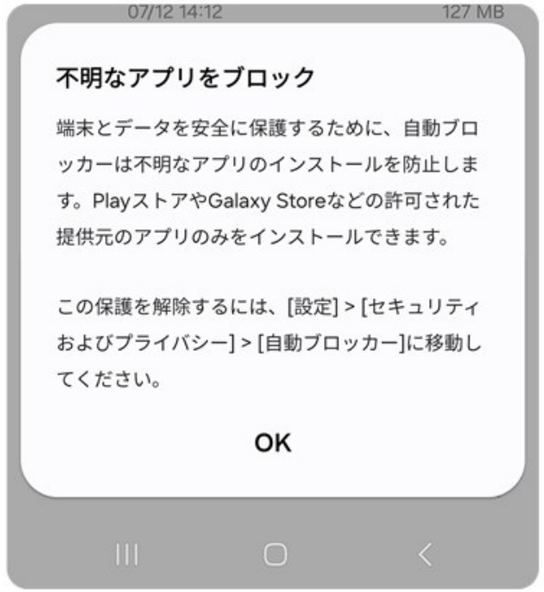
① 設定で「不明なアプリ」を検索します。

②「不明なアプリのインストール」を開きます。

③ ブラウザなど、各アプリの許可を確認します。

④ 不要な「この提供元を許可」をオフにします。

右はGalaxyでブロックされた例です。設定を解除して進める合図ではありません。



Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：使わない提供元が「許可しない」になりました。

覚えておきたいこと

「荷物を受け取るため」「返金のため」とアプリを入れるよう言われても、その場では進めません。公式アプリの配布元を自分で確認しましょう。

アプリの権限を開く

権限とは、カメラや位置情報などを使う許可です。

①「設定」を開きます。

②「アプリ」を押します。

③ 一覧から見直したいアプリを探します。



一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：アプリ一覧が表示されました。

覚えておきたいこと

使っていないアプリから確認すると進めやすくなります。電話・地図・見守りなど、日常生活に必要な機能は使い道を確かめてから変更します。

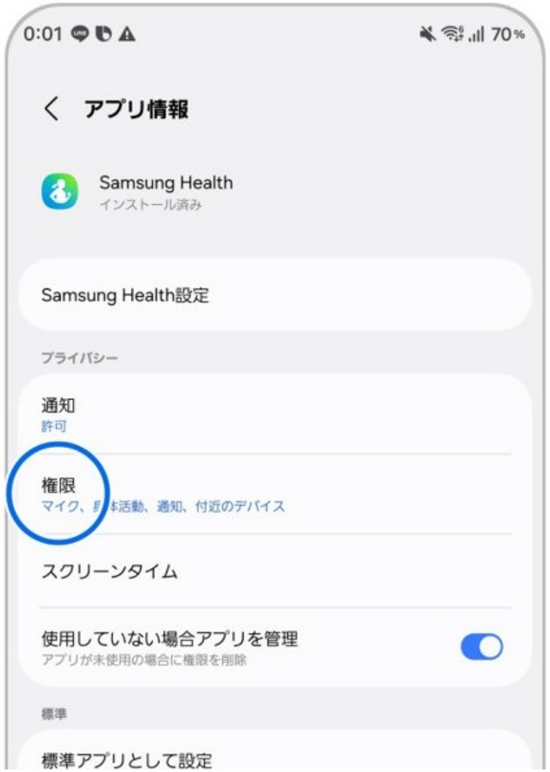
見直すアプリを選ぶ

いつも使うアプリから、一つずつ確認します。

① 一覧でアプリ名を押します。

②「アプリ情報」の画面を開きます。

③「権限」を押します。



一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：そのアプリの権限一覧が出ました。

覚えておきたいこと

右の画面は選び方の例です。画像に写っているアプリが危険という意味ではありません。ご自身が使っているアプリを選んでください。

許可している項目を確認する

そのアプリに本当に必要か考えます。

①「許可」に並ぶ項目を読みます。

②「カメラ」「マイク」「位置情報」などを選びます。

③ 使っていない機能の許可を見直します。



一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：何を許可しているか把握できました。

覚えておきたいこと

例：通話アプリのマイクは通話に必要です。許可を止めて使えなくなったときは、同じ画面から必要な範囲だけ戻せます。

マイク・カメラの許可

必要なときだけ使える設定にします。

①「マイク」または「カメラ」を押します。

② 必要なら「アプリの使用中のみ許可」を選びます。

③ 使わない機能なら「許可しない」を選びます。



一部拡大：Galaxyの公式画面例。機種・版により表示が異なります。

確認：普段の通話や撮影ができるか試しました。

覚えておきたいこと

「毎回確認する」が選べる機種もあります。操作の負担と使い方に合わせて選びましょう。すべてを一律に禁止する必要はありません。

位置情報の許可

「常に許可」が必要か見直します。

① アプリの「権限」→「位置情報」を開きます。

② 通常は「アプリの使用中のみ許可」を選びます。

③ 正確な位置が不要なら、その許可も見直します。

確認：地図や見守りなど必要な機能が使えます。



一部拡大：Galaxyの権限一覧の例。ここから「位置情報」を探します。

覚えておきたいこと

ナビや家族の見守りは、正確な位置や常時の利用が必要な場合があります。本体の位置情報を一律オフにすると、紛失時に探す機能にも影響します。

写真・連絡先の許可

必要なデータだけをアプリに渡します。

① アプリの「権限」を開きます。

②「写真と動画」「連絡先」などを確認します。

③ 写真を選んで許可できる場合は、必要な写真だけ。

④ 不要な連絡先へのアクセスは許可しません。

確認：写真の送信など、必要な操作ができます。

覚えておきたいこと

写真の選択画面や許可の種類は、Androidとアプリの版によって異なります。項目が出ない場合は、そのアプリの公式案内を確認してください。

Googleの2段階認証

パスワードだけで入られないように備えます。

① 設定の「Google」からアカウント管理を開きます。

②「セキュリティとログイン」を押します。

③「2段階認証プロセス」を開きます。

④ 案内に沿い、ご本人が認証方法を登録します。

スマホをなくしてもログインできるよう、次のページの予備手段も準備します。

確認：2段階認証が有効と表示されます。

覚えておきたいこと

「セキュリティ」という名前の画面もあります。myaccount.google.comからも設定できます。頼まれても、他人の電話番号や認証方法は登録しません。

予備のログイン手段を用意する

スマホが手元にないときに使う備えです。

① Googleアカウントの「2段階認証」を開きます。

②「バックアップ コード」を開きます。

③ 必要ならコードを作成します。

④ 印刷などで、スマホとは別の安全な場所に保管。

確認：スマホなしでも取り出せる場所に保管しました。

覚えておきたいこと

バックアップコードは1回ずつ使う予備の認証コードです。この冊子に書き込んだり、LINEで送ったりせず、他の人に見せないでください。

再設定用の連絡先を確認する

ログインできなくなったときの連絡先です。

① Googleアカウントの設定を開きます。

②「セキュリティとログイン」などから
　再設定用の電話番号・メールを開きます。

③ 今も使える自分の連絡先に直し、確認します。

確認：古い電話番号・使えないメールが残っていません。

覚えておきたいこと

再設定用メールは、ログイン用とは別の、自分で開けるメールを使います。アカウントが複数ある場合は、使うアカウントごとに確認します。

Find Hubをオンにする

なくしたスマホを探すための設定です。

① 設定で「Find Hub」または「デバイスを探す」を検索。

②「デバイスの場所の特定を許可」をオンにします。

③ 本体の「位置情報の使用」もオンにします。

④ Googleアカウントにログイン済みか確認します。

家族への常時の位置共有とは別の機能です。必ず発見できるとは限りません。

確認：Find Hubと本体の位置情報がオンです。

覚えておきたいこと

設定→Google→すべてのサービス→Find Hubから開ける機種もあります。「オフラインのデバイスを探す」は説明を読み、利用範囲を選んでください。

盗難保護をオンにする

対応するスマホで、追加のロックを使います。

① 設定→「Google」→「すべてのサービス」。

②「盗難保護」を開きます。

③「盗難検出ロック」をオンにします。

④「オフライン デバイスロック」もオンにします。

Android Go・タブレットなどでは利用できません。すべての盗難を検出する機能ではありません。

確認：対応する2つのスイッチがオンです。

覚えておきたいこと

「ユーザーとデバイスの安全」の中にある場合があります。非対応・グレー表示なら無理に進めず、画面ロックとFind Hubを優先してください。

リモートロックを準備する

対応していれば、電話番号で遠隔ロックできます。

①「盗難保護」→「リモートロック」を開きます。

② リモートロックをオンにします。

③ ご自身の電話番号が確認済みか確認します。

④ 未確認なら、画面の番号確認の手順を進めます。

オフライン時は、再びオンラインになってからロックされます。

確認：機能がオンで、自分の番号が確認済みです。

覚えておきたいこと

紛失時の入口は android.com/lock です。利用には画面ロック、有効なSIM、確認済みの番号、Find Hub、端末のネット接続が必要です。

Chromeの危険サイト対策

危険なページを開く前の警告を使います。

① Chrome右上の、点が縦に3つのメニュー→「設定」。

②「プライバシーとセキュリティ」を開きます。

③「セーフ ブラウジング」を押します。

④ 少なくとも「標準保護機能」を有効にします。

警告が出たら、無理に先へ進まないでください。

確認：「保護なし」になっていません。

覚えておきたいこと

「保護強化機能」はより強い検出のため、URLなどの情報をGoogleに送ります。画面の説明を読み、データの扱いも確認して選びましょう。

Quick Shareの公開範囲

近くの端末とファイルをやり取りする機能です。

① 設定で「Quick Share」を検索して開きます。

②「共有を許可するユーザー」などを確認します。

③ 通常は「自分のデバイス」または「連絡先」に。

④「全員」は必要なときだけ使い、終了後に戻します。

確認：常時「全員」に公開する設定になっていません。

覚えておきたいこと

Galaxyでは「共有を許可しない」など表示が違うことがあります。知らない相手からの受信は承認しないでください。

困ったときに止まるポイント

急がせる連絡ほど、一度手を止めます。

- 「ウイルス感染」の広告から電話しない。
- SMSのリンクから、アプリや証明書を入れない。
- 認証コードを教えず、覚えのないログインは拒否。
- 遠隔操作や画面共有は、相手を確かめてから。

確認：公式アプリや、契約書の連絡先から確認します。

覚えておきたいこと

設定だけで詐欺をすべて防ぐことはできません。お金や認証を求められたら、その場で決めず、信頼できる家族などに相談しましょう。

スマホが見つからないとき

別の端末から、公式のFind Hubを開きます。

① android.com/find で自分のGoogleアカウントへ。

② 対象のスマホを選び、位置・最終確認時刻を確認。

③ 近くなら音を鳴らし、必要なら紛失としてマーク。

④ 盗難が疑われるときは警察・携帯会社へ連絡。

確認：携帯会社の連絡先をスマホ以外にも控えました。

覚えておきたいこと

遠隔消去は元に戻せず、その後はFind Hubで位置を確認できなくなります。練習では押さないでください。見知らぬ場所へ一人で取りに行かないでください。

重要設定の最終チェック

できた項目にチェックを入れましょう。

- ☐ 本体・Google Play・アプリの更新を確認した
- ☐ PINと指紋、通知内容の非表示を確認した
- ☐ Play プロテクトとアプリの権限を確認した
- ☐ Googleの認証・予備手段・バックアップを確認した
- ☐ Find Hubと、対応する盗難保護を確認した

覚えておきたいこと

できなかった項目は次のメモ欄へ。あとから見直す日を決めておきましょう。機種変更や大きな更新のあとにも確認してください。

次回の確認メモ

暗証番号やパスワードは書かないでください。

・機種名／Androidの版：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・確認した日：＿＿＿＿＿　次の確認日：＿＿＿＿＿

・できなかった項目：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・相談する家族・窓口：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

覚えておきたいこと

設定を変えた後は、電話・LINE・地図など普段の機能を試しましょう。家族と確認するときも、ご本人の希望に合わせて進めてください。

公式の手順と画像の出典 1

S01　Samsung｜画面ロック
S02　Samsung｜ソフトウェア更新
S03　Samsung｜指紋認証
S04　Samsung｜自動ブロッカー
S05　Samsung｜アプリの権限
S06　Samsung｜通知・Now bar
S07　Google｜バックアップ
S08　Google｜盗難保護

各項目名をクリックすると公式ページが開きます。

覚えておきたいこと

画面画像はSamsung公式サポート掲載の例です。各社の商標・画像の権利は各権利者に帰属します。実機の表示が違う場合は、リンク先の最新の手順をご確認ください。

公式の手順と画像の出典 2

S09 Google｜Find Hubの準備
S10 Google｜Play プロテクト
S11 Google｜2段階認証
S12 Google｜Quick Share
S13 Google｜Androidの更新
S14 Google｜アプリの更新
S15 Google｜画面ロック
S16 Google｜通知の管理

各項目名をクリックすると公式ページが開きます。

覚えておきたいこと

画面画像はSamsung公式サポート掲載の例です。各社の商標・画像の権利は各権利者に帰属します。実機の表示が違う場合は、リンク先の最新の手順をご確認ください。

公式の手順と画像の出典 3

S17　Google｜アプリの権限
S18　Google｜アカウントの保護
S19　Google｜予備の認証コード
S20　Google｜再設定用の連絡先
S21　Google｜Chromeの危険サイト対策
S22　Google｜紛失時の操作
S23　Google｜Google Play以外からのアプリ
S24　Google｜ロック解除の延長

各項目名をクリックすると公式ページが開きます。

覚えておきたいこと

画面画像はSamsung公式サポート掲載の例です。各社の商標・画像の権利は各権利者に帰属します。実機の表示が違う場合は、リンク先の最新の手順をご確認ください。